

統合新病院の特色について

（第3回会議での意見より）

統合新病院建設部会からの例示

- ・ 全室個室にすることで療養環境の整った病院
- ・ 保健・医療・福祉の行政機能を取り込んだ包括的機能の病院

前回会議での意見

- ・ 予防から治療、介護、看取りまで連携して提供するための拠点となる病院
- ・ 加賀市全体がひとつの病院であるかのような一体的な医療提供体制の中心となる病院
- ・ 大学や他の医療機関と連携して医療スタッフ（研修医や看護師など）の教育を行う病院
- ・ 災害時には市や医師会などとの連携し傷病者対応の中心となる病院
- ・ いろいろな資源を連携した「加賀市システム」の中心となる病院
- ・ 在宅医療（訪問診療・訪問看護）との連携により安心して退院できる病院

(参考) 統合新病院の基本理念 (第3回会議で決定)

基本理念

「おもいやり」

私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、
市民の健康を守ります

基本方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
1. 救急搬送をことわらない体制を目指します
1. 将来を担う優れた医療人を育成します
1. 地域に根付いた医療を実践します

(参考) 統合新病院整備の基本方針 (加賀市医療提供体制基本構想より)

- (1) 地域の中核病院として南加賀医療圏の他の医療機関や高度医療機関と連携し、南加賀医療圏に適切な医療を提供できる施設として整備する。
- (2) 地域住民の保健・福祉・介護需要に対し、他の関連機関と連携し、適切に対応できる施設として整備する。
- (3) 職員はもとより地域の医療・保健関係機関の人々の医学・医療技術の向上のため、教育・研修できる施設として整備する。
- (4) 入院・外来患者の療養環境を確保し、職員が働きやすい施設として整備する。
- (5) 効果的・効率的運営が円滑にでき、将来に渡って持続可能な施設として整備する。
- (6) 災害時に機能する施設として整備する。
- (7) 加賀市としての特色ある医療機関となるよう整備する。